

国家予算 防衛費増え、かさむ借金

2023年、新年あけましておめでとうございます。今年も知って得する、知らなきや損するお金の情報を皆さまにお届けしたいと思います。

昨年12月23日、毎年政府が出す国の予算案が発表されました。1月からの国会で、私たちが選んだ国会議員によって審議が始まります。

2023年度の予算案（一般会計総額）は、2022年度当初の予算から6.3%（6兆7848億円）増え114兆3812億円。単位が兆円になると想像がつかない数字になるので、1000億円を1万円とし、この予算額を1144万円に変えて、図のように予算案を家計にたとえてみました。

年収は、昨年に比べると増加が予想され694万円、副収入と合わせると過去最高787万円です。その収入の半分ぐらいの369万円は、年金・医療・介護などの社会保障費で昨年より支出が増えています。

家計の健全性（国の場合は基礎的財政収支と言います）は、この時点で収入（787万円）から支出（891万円）を差し引くと約104万円の赤字となり、さらに今までの借金の返済（国債の返済）253万円が加わると支出合計はおおよそ1144万円です。収入約787万円なので不足金額約356万円は、新たな借金（国債）でカバーすることになります。国と地方を合わせた借金は、2023年度末には1億2789万円（1279兆円）になるようで、金利が上昇すればこの借金の利息も増えることになり心配です。

2023年度 日本の予算を家計簿にすると
2023年度政府予算114兆3812億円を1144万円として、家計簿としてみるとうなる。

収入（歳入）	
年収（税収）	……694万円↑
妻の副業（税外収入）	……93万円↓
借金（国債発行）	……356万円↓
収入合計	1144万円↑

支出（歳出）	
年金・医療費など（社会保障費）	369万円↑
借金返済（国債の返済）	……253万円↑
子への仕送り（地方交付税）	……164万円↑
教育費（文教・科学振興費）	……54万円↑
修繕費（公共投資）	……61万円↑
防犯対策費	……68万円↑
防衛力強化資金（防衛費）	……34万円↑
コロナ対策費	……40万円↓
その他	……101万円↑
支出合計	1144万円↑

※↑↓は、前年度との比較（四捨五入してあります）

借入残高（長期債務残高）…1億2789万円↑

※2023年末、国と地方の長期債務残高約1279兆円の見込み。

この大切な予算は、確かに日本が直面しているコロナ禍や物価高、ウクライナ情勢などの防衛といった課題に対応しつつ、日本の未来を拓くためにも使ってほしいものです。

物価や電気料金などの値上げで、家計の節約を意識される方も多いでしょう。今年も値上げは続きそうです。家計を防衛するために、今年の予想される収入と支出を把握して貯蓄・投資計画を立ててみましょう。



暮らしのマネープラン相談センター・所長
サーティファイドファイナンシャルプランナー 高橋 昌子

あなたの暮らしと財産を守るパートナー

■時間相談 ……1時間まで5,500円 2時間まで8,800円

教育資金・老後資金・相続・住宅ローン・保険の見直しや商品選択、確定拠出年金など何でも相談できます

■マイホーム相談 …… 33,000円

無理のない予算額、頭金や購入時期、最適な住宅ローン・生命保険・火災保険など、マイホーム購入にまつわるマネープランについて何でも、マイホーム購入まで時間を気にせず相談できます

■退職マネープラン相談 …… 33,000円

退職後の手続き、年金や保険、退職資金計画など退職後の生活設計について何でも、時間を気にせず相談できます

